
HDD TWAIN ドライバー

ユーザーズガイド

目次

1 はじめに

- 1.1 HDD TWAIN ドライバーとは 1-1
- 1.2 こんな使い方があります 1-2
- 1.3 必要な動作環境 1-3
 - 1.3.1 ソフトウェア 1-3
 - 1.3.2 システム環境 1-3

2 HDD TWAIN ドライバーのインストール

- 2.1 インストール 2-1
- 2.2 アンインストール 2-2

3 操作の流れ

4 読込む

5 設定を変更する

- 5.1 白黒を反転する 5-1
- 5.2 読込み後に原稿を削除する 5-2
- 5.3 画質を調整する 5-3
- 5.4 カラーモードを変更する 5-5
- 5.5 画像解像度を変更する 5-6

6 読込み先の装置を選択する

- 6.1 ネットワーク上の装置から選択する 6-1
- 6.2 登録リストから選択する 6-3
- 6.3 登録リストを編集する 6-5
 - 6.3.1 装置を追加する 6-6
 - 6.3.2 装置の情報を変更する 6-7
 - 6.3.3 装置の情報をコピーする 6-8
 - 6.3.4 装置の情報を削除する 6-9



7 認証設定がされている装置での読み込み

- 7.1 ユーザー認証がされている装置 7-1
- 7.2 部門管理認証がされている装置 7-3
- 7.3 中間認証サーバーで認証がされている装置 7-4

8 困ったときにお読みください

本製品について

HDD TWAIN ドライバーは、LAN に接続された MFP（複合機）に保存した原稿のデータを、コンピュータの画像処理ソフトウェアに読み込むことができます。

登録商標および商標

商標について

Microsoft[®]、Windows[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

RSA[®] BSAFE[™]

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。



ライセンス情報

本製品は、RSA Security Inc. の RSA[®] BSAFE[™] ソフトウェアを搭載しています。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

画面について

本書に掲載する画面は、Windows 7 の画面を使用しています。



ワンポイント

装置や設定および使用するコンピュータによって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご注意

本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

Copyright © 2005 KONICA MINOLTA, INC. All rights reserved.



LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact opensslcore@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact opensslcore@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related.
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

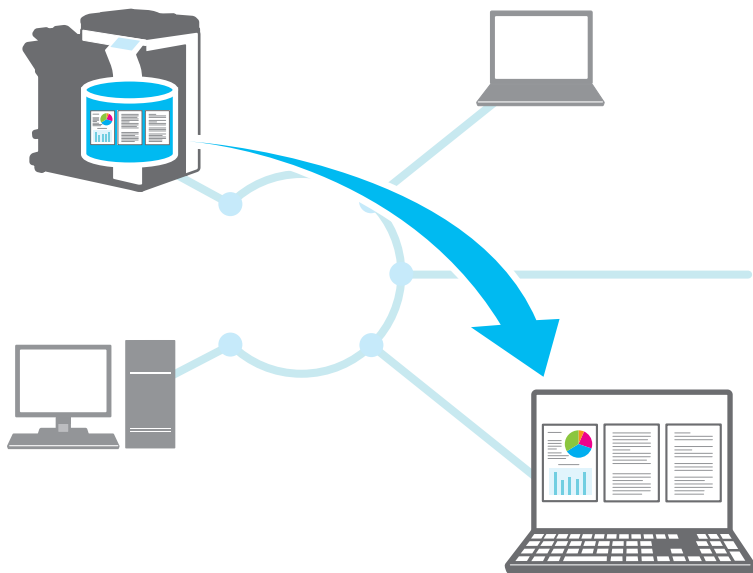
1 はじめに

1.1 HDD TWAIN ドライバーとは

LAN に接続された MFP（複合機）に保存した原稿のデータを読みみます。
コンピューターの画像処理アプリケーションソフトウェアから HDD
TWAIN ドライバーを操作します。

読込んだ原稿は、画像処理アプリケーションソフトウェアで編集することができます。

HDD TWAIN ドライバーで画像を調整することもできます。



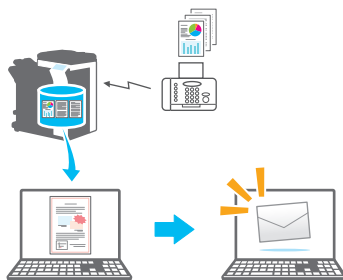
1.2 こんな使い方があります

HDD TWAIN ドライバーを使うと、以下のようなことができます。

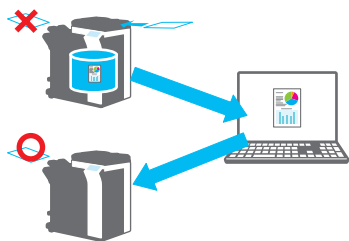
MFP（複合機）に原稿を貯めておき、
後でコンピューターに読み込む



受信したファクスの内容をコン
ピューターに読み込み、E-mail
で送信



コピー結果が思わしくない原稿を、コン
ピューターに読んで編集してからプリント



1.3 必要な動作環境

1.3.1 ソフトウェア

このソフトウェアを使うには、あらかじめコンピューターに以下のソフトウェアをインストールしてください。

- TWAIN に対応した画像処理アプリケーションソフトウェア

1.3.2 システム環境

対応 OS	Windows Vista Home Basic (SP2 以降)* Windows Vista Home Premium (SP2 以降)* Windows Vista Business (SP2 以降)* Windows Vista Enterprise (SP2 以降)* Windows Vista Ultimate (SP2 以降)* Windows 7 Home Basic (SP1 以降)* Windows 7 Home Premium (SP1 以降)* Windows 7 Professional (SP1 以降)* Windows 7 Enterprise (SP1 以降)* Windows 7 Ultimate (SP1 以降)* Windows 8* / Windows 8.1* Windows 8 Pro* / Windows 8.1 Pro* Windows 8 Enterprise* / Windows 8.1 Enterprise* * 32 ビット (x86) / 64 ビット (x64) 環境に対応。
コンピューター	OS の仕様に準ずる
メモリー	OS の仕様に準ずる
ネットワーク	TCP/IP プロトコルの設定が正しく行われているコンピューター
ハードディスク	20 MB 以上の空き容量が必要

最新の動作環境については Readme を参照してください。

2 HDD TWAIN ドライバーのインストール

HDD TWAIN ドライバーのインストールとアンインストールの手順を説明します。

ここでは、Windows 7 の例で説明します。

2.1 インストール

HDD TWAIN ドライバーのインストールは以下の手順で行います。

< 操作手順 >

- 1 インストールプログラムを起動します (Setup.exe)。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
- 2 「はい」をクリックします。
- 3 以降は画面の指示に従って操作します。
インストールが開始され、必要なファイルがコピーされます。
コピーが終了すると、インストールの完了画面が表示されます。
- 4 「完了」をクリックします。
HDD TWAIN ドライバーのインストールが終了します。



ご注意

Photoshop CS5 32 ビットで HDD TWAIN ドライバーを使用するときは、Adobe のホームページから TWAIN のプラグインをダウンロードしてインストールする必要があります。

Photoshop CS5 64 ビットでは、TWAIN をサポートしていません。



ワンポイント

このソフトウェアには、MSI ファイル形式のインストーラーが用意されています。

MSI ファイルを使用することで、Active Directory からソフトウェアの配布とインストールを自動的行うことができます。

詳細につきましては、サービス実施店にお問い合わせください。

2.2 アンインストール

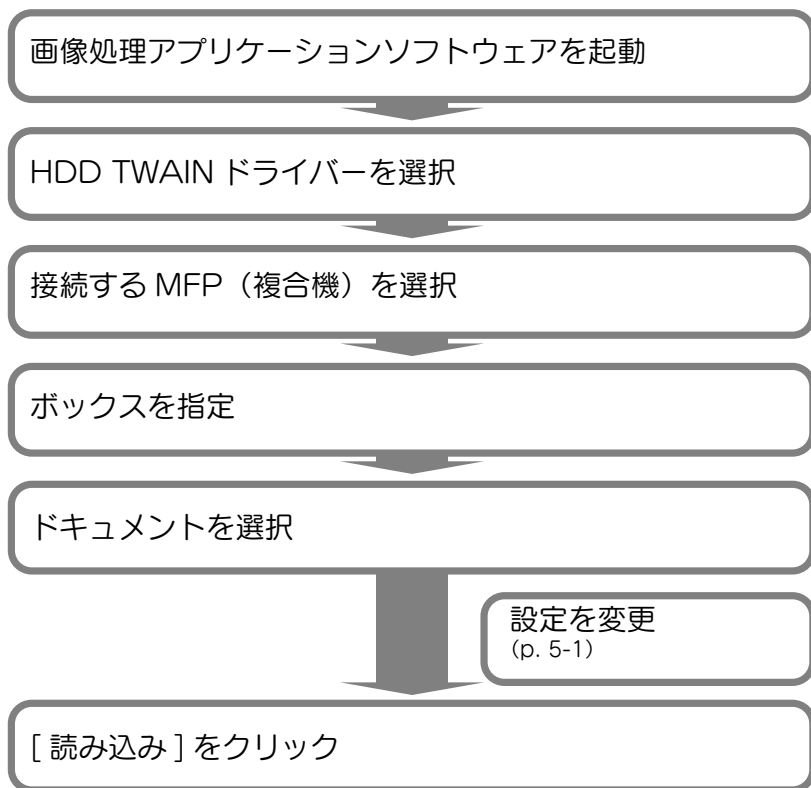
HDD TWAIN ドライバーをアンインストールするには以下の手順で行います。

< 操作手順 >

- 1 オペレーティングシステムの「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「プログラムと機能」を選択します。
- 2 リストから対象のソフトウェアを選択してから「アンインストール」をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
- 4 以降は画面の指示にしたがって操作します。
- 「プログラムの保守」画面では「削除」を選択します。
アンインストールが開始され、終了するとアンインストールの完了画面が表示されます。
- 5 「完了」をクリックします。
HDD TWAIN ドライバーのアンインストールが終了します。

3 操作の流れ

操作の流れを説明します。



4 読み込む

原稿を読み込みます。



ご注意

コピーモード、プリントモードでボックスに保存した原稿やシステムボックスの原稿は取出すことができません。



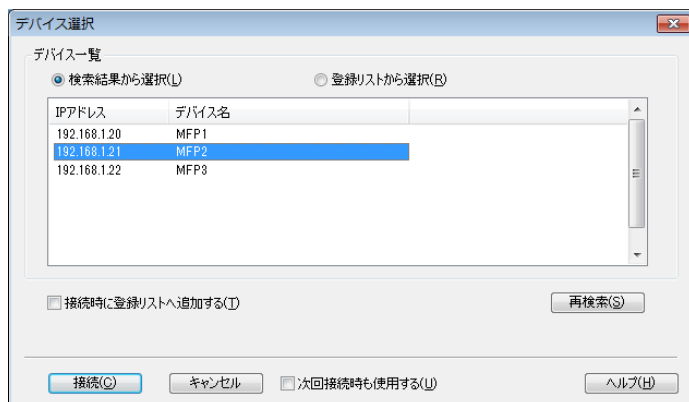
ご注意

MFP（複合機）側でボックス蓄積文書の操作が禁止されているときは、原稿を読み込みできません。

< 操作手順 >

- 1 画像処理アプリケーションソフトウェアを起動します。
- 2 画像処理アプリケーションソフトウェアから HDD TWAIN ドライバーを選択します。
 - アプリケーションによっては「対応機器の選択」というコマンドが表示されているものもあります。
この場合、いったん「対応機器の選択」でお使いの HDD TWAIN ドライバーを選択してから読み込みの操作を行ってください。
「デバイス選択」画面が表示されます。

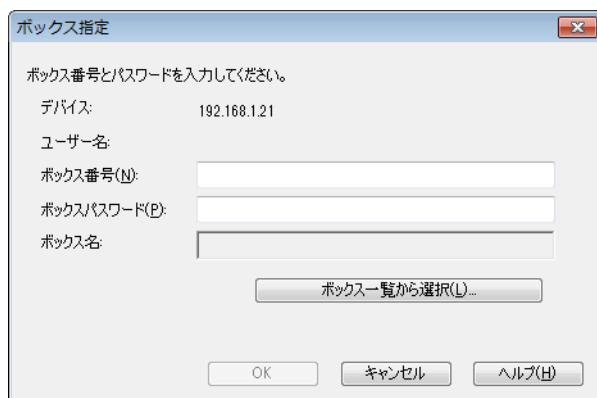
3 接続する装置を選択してから「接続」をクリックします。



- 登録リストから接続する装置を選択することもできます。詳しくは「登録リストから選択する」(p. 6-3) をごらんください。
- 「デバイス選択」画面について、詳しくは「読み込み先の装置を選択する」(p. 6-1) をごらんください。
- MFP（複合機）側でユーザー認証や部門認証を設定しているときは、それぞれの認証画面が表示されます。詳しくは、「認証設定がされている装置での読み込み」(p. 7-1) をごらんください。
- ログインするユーザーに対して、ボックス蓄積文書の操作を禁止するよう MFP（複合機）側で設定されているときは、原稿を読み込みできません。
- 「次回接続時も使用する」にチェックを付けると、選択した装置を次回接続時も使用します。次に HDD TWAIN ドライバーを選択したときに「デバイス選択」画面は表示されずにボックス指定画面が表示されます。

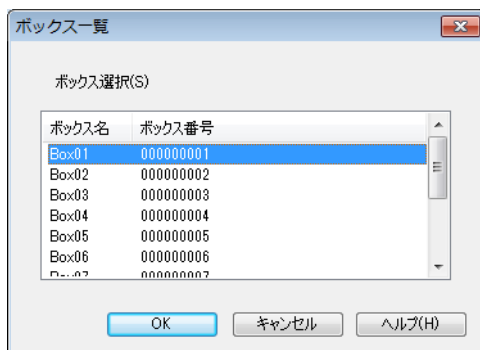
ボックス指定画面が表示されます。

4 ボックスを指定します。

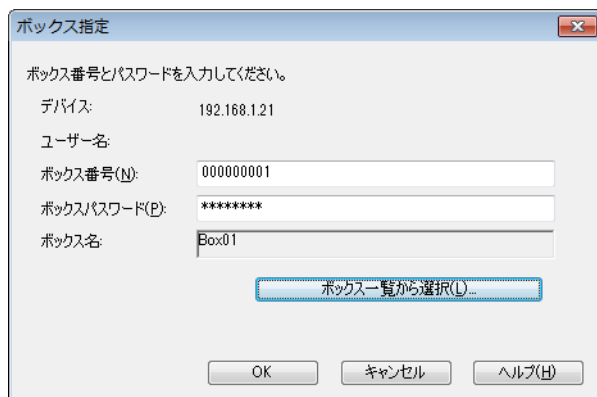


- 「ボックス一覧から選択」をクリックして、ボックスを選択します。選択後、[OK] をクリックします。

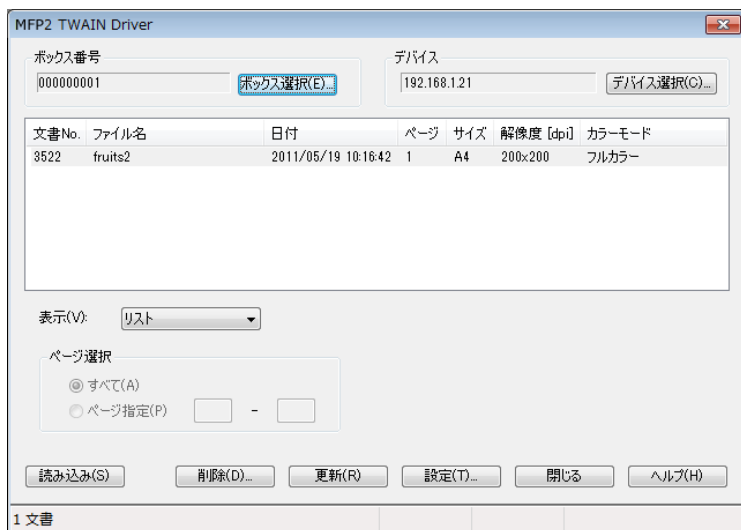
ボックス番号が分かっているときは「ボックス番号」に番号を入力します。



- 5 ボックスにパスワードが設定されているときは「ボックスパスワード」にパスワードを入力します。



- 6 「OK」をクリックします。
メイン画面が表示されます。
- 7 読込む原稿をクリックします。



- 「表示」で「サムネイル」を選択すると、原稿の先頭ページが縮小表示されます。装置によっては「サムネイル」を選択できません。



- 選択した原稿を削除したいときは「削除」をクリックします。
- リストを更新したいときは「更新」をクリックします。
- 画像を調整したいときや読み後に原稿を削除したいときは「設定」をクリックします。詳しくは「設定を変更する」(p. 5-1) をご覧ください。
- ボックスを変更したいときは「ボックス選択」をクリックします。
- 読み込み先の装置を変更したいときは「デバイス選択」をクリックします。詳しくは「読み込み先の装置を選択する」(p. 6-1) をご覧ください。

「読み込み」をクリックします。

原稿が読みまれ、画像処理アプリケーションソフトウェアに画像が表示されます。

5 設定を変更する

「設定」画面で画像の調整や読み後に原稿の削除ができます。

設定後は「OK」をクリックします。

5.1 白黒を反転する

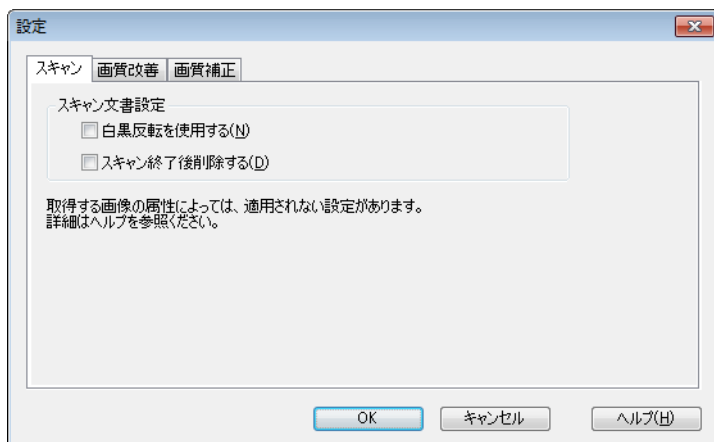
原稿の白い部分と黒い部分を反転して読みます。

「設定」画面の「スキャン」タブで「白黒反転を使用する」にチェックを付けます。



ひとこと

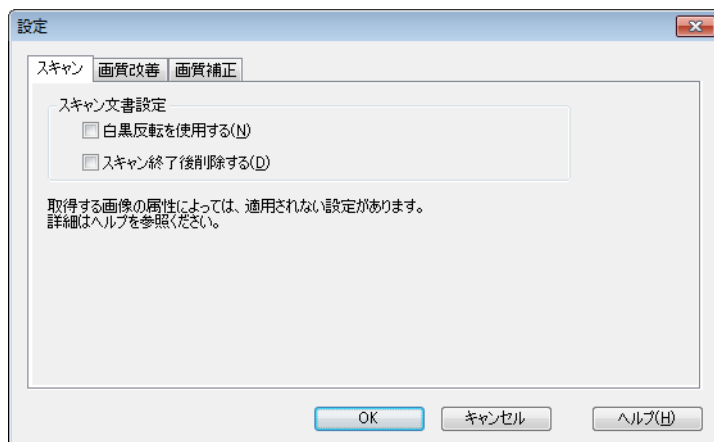
白黒 2 値データのときに選択できます。



5.2 読み込みに後に原稿を削除する

原稿を読み込んだあとに、読み込んだ原稿を削除します。

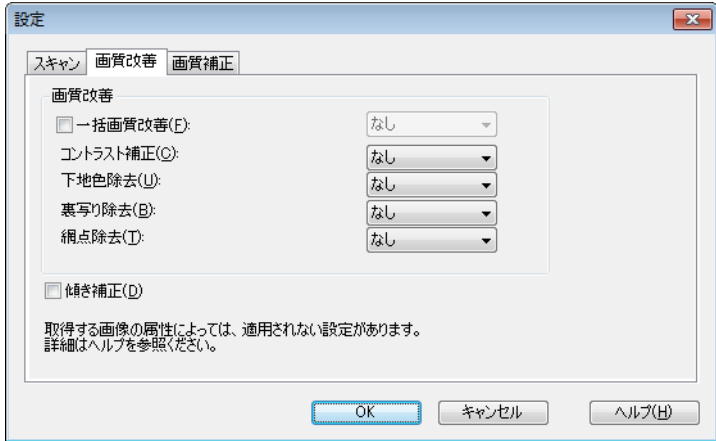
「設定」画面の「スキャン」タブで「スキャン終了後削除する」にチェックを付けます。






5.3 画質を調整する

読込む原稿の画質を調整します。

「設定」画面の「画質改善」タブで設定します。



項目	説明
一括画質改善	<p>チェックを付けると、コントラスト補正、下地色除去、裏写り除去、網点除去を一括で調整します。なし、弱、標準、強から選択します。</p> <p>✎ ...</p> <p>ひとこと グレースケール、白黒 2 値データのときは設定が無効になります。</p>
コントラスト補正	<p>コントラストを調整します。なし、弱、標準、強から選択します。</p> <p>✎ ...</p> <p>ひとこと 白黒 2 値データのときは設定が無効になります。</p>
下地色除去	<p>薄い色がついた原稿の下地色や、経年劣化や日光などでおこる黄ばみを消します。なし、弱、標準、強から選択します。</p> <p>✎ ...</p> <p>ひとこと グレースケール、白黒 2 値データのときは設定が無効になります。</p>

項目	説明
裏写り除去	<p>裏面の文字や図形が写りこんでいるときに、表面の文字や図形に影響を与えずに除去できます。なし、弱、標準、強から選択します。</p> <p>...</p> <p>ひとこと グレースケール、白黒 2 値データのときは設定が無効になります。</p>
網点除去	<p>モアレ（印刷物を讀込むときにできるしま模様）の発生を抑えます。なし、弱、標準、強から選択します。</p> <p>...</p> <p>ひとこと 白黒 2 値データのときは設定が無効になります。</p>
傾き補正	<p>讀込んだ原稿の傾きを自動的に調整します。</p> <p>...</p> <p>ご注意 画像サイズが小さいときは、正常に機能しないことがあります。</p>

5.4 カラーモードを変更する

原稿のカラーモードを変更します。

「設定」画面の「画質補正」タブで「カラー」のリストから選択します。

なし、フルカラー、グレースケール、白黒 2 値から選択します。



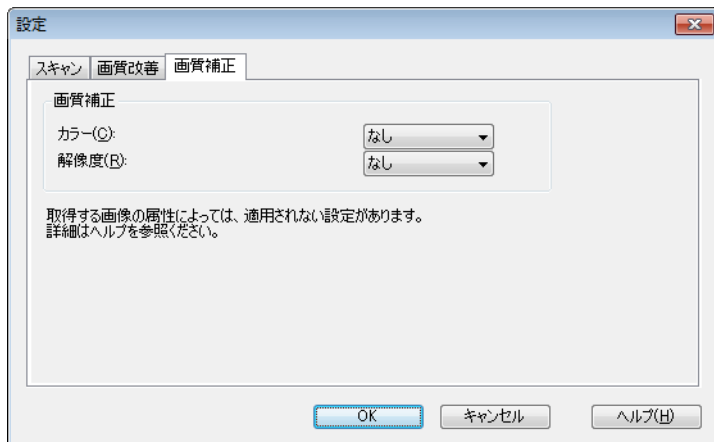
…
ひとこと

装置によっては機能しません。



…
ひとこと

グレースケールをフルカラーにしたり、白黒 2 値をグレースケールやフルカラーにしたりできません。



5.5 画像解像度を変更する

原稿の画像解像度を変更します。

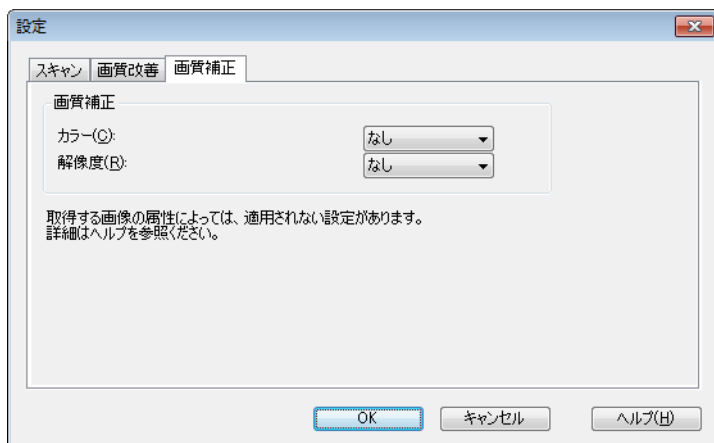
「設定」画面の「画質補正」タブで「解像度」のリストから選択します。

なし、200 × 100 dpi、200 × 200 dpi、300 × 300 dpi、400 × 400 dpi、600 × 600 dpi から選択します。



ひとこと

装置によっては機能しません。



6 読み込み先の装置を選択する

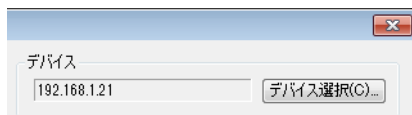
ネットワーク上で読み込みできる装置を選択します。最初に HDD TWAIN ドライバーを開いたときやメイン画面から「デバイス選択」をクリックしたときに表示される「デバイス選択」画面で操作します。

6.1 ネットワーク上の装置から選択する

ネットワーク上で自動的に検索された装置を選択します。

<操作手順>

- 1 HDD TWAIN ドライバーを開く、またはメイン画面から「デバイス選択」をクリックします。

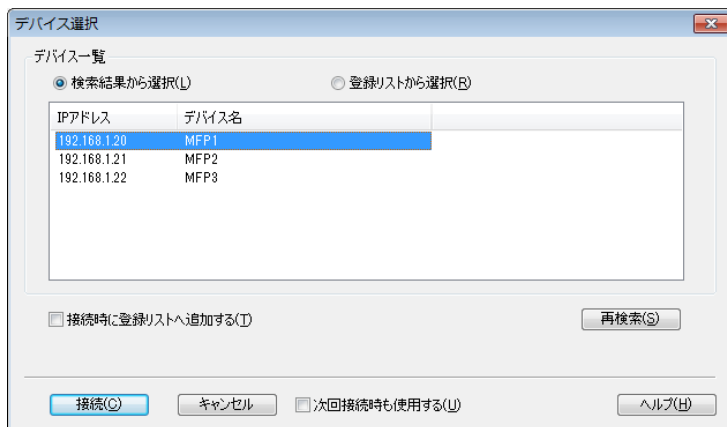


- デバイス選択画面が表示されます。
- リストにはネットワーク上で自動的に検索された装置の一覧が表示されます。
- もう一度検索したいときは「検索結果から選択」をクリックします。

- 2 接続したい装置を選択して、「接続」をクリックします。

- 接続するときに登録リストへ追加するときは、「接続時に登録リストへ追加する」にチェックを付けます。登録リストについて、詳しくは「登録リストを編集する」(p. 6-5) をご覧ください。
- 認証設定がされている装置を読み込むときは、表示される各画面で必要な情報を入力します。詳しくは「認証設定がされている装置での読み込み」(p. 7-1) をご覧ください。

- 「次回接続時も使用する」にチェックを付けると、次に HDD TWAIN ドライバーを選択したときに「デバイス選択」画面は表示されずにメイン画面が表示されます。



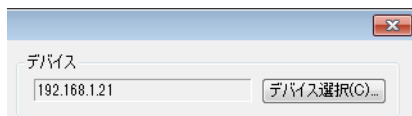
メイン画面が表示されます。

6.2 登録リストから選択する

登録リストから装置を選択します。

< 操作手順 >

- 1 HDD TWAIN ドライバーを開く、またはメイン画面から [デバイス選択] をクリックします。



デバイス選択画面が表示されます。

- 2 [登録リストから選択] をクリックします。



3 接続したい装置を選択して、[接続] をクリックします。

- 認証設定がされている装置を読み込むときは、表示される各画面で必要な情報を入力します。詳しくは「認証設定がされている装置での読み込み」(p. 7-1) をご覧ください。
- 登録リストの装置の追加や編集、コピー、削除のしかたは「登録リストを編集する」(p. 6-5) をご覧ください。
- 「次回接続時も使用する」にチェックを付けると、次に HDD TWAIN ドライバーを選択したときに「デバイス選択」画面は表示されずにメイン画面が表示されます。



メイン画面が表示されます。

6.3 登録リストを編集する

登録リストの装置の追加や編集、コピー、削除をします。

「デバイス選択」画面で「登録リストから選択」をクリックすると登録リストが表示されます。



6.3.1 装置を追加する

登録リストに装置を追加します。

< 操作手順 >

- 1 「追加」 をクリックします。
「接続先設定」 画面が表示されます。
- 2 装置の情報を入力し、[OK] をクリックします。

- 名称：機器の名称を入力します。
- IP アドレス（ホスト名）：装置の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- ボックス番号：読み込むボックス番号を入力します。
- ボックスパスワード：ボックスにパスワードが設定されているときは「パスワードを保存する」にチェックを付けパスワードを入力します。

6.3.2 装置の情報を変更する

登録リストに追加された装置の情報を変更します。

< 操作手順 >

- 1 リストから変更したい装置を選択し、[編集] をクリックします。
「接続先設定」画面が表示されます。
- 2 装置の情報を入力します。

接続先設定

名称(M): MFP1

スキャナー<必須>
IPアドレス<ホスト名>(A): 192.168.1.20

ユーザーボックス<オプション>
ボックス番号(N): 00001
ボックスパスワード(P): ●●●●●●●●

☒ パスワードを保存する(S)

認証情報取得(L)...

OK キャンセル ヘルプ(H)

- 名称：機器の名称を入力します。
- IP アドレス（ホスト名）：装置の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- ボックス番号：読み込むボックス番号を入力します。
- ボックスパスワード：ボックスにパスワードが設定されているときは「パスワードを保存する」にチェックを付けパスワードを入力します。

- 認証情報：前回接続時に認証情報が保存されていると有効になります。クリックすると認証情報が表示されます。[認証情報をクリア] をクリックすると認証情報がクリアされます。[OK] をクリックすると、「接続先設定」画面が表示されます。

6.3.3 装置の情報をコピーする

登録リストに追加された装置の情報をコピーします。

＜操作手順＞

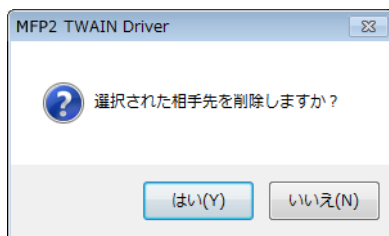
- 1 登録リストからコピーしたい装置の情報を選択し、[コピー] をクリックします。
- 2 登録リストに装置の情報がコピーされます。

6.3.4 装置の情報を削除する

登録リストに追加された装置の情報を削除します。

< 操作手順 >

- 1 登録リストから削除したい装置の情報を選択し、[削除] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
- 2 [はい] をクリックします。



選択した装置の情報が削除されます。

7 認証設定がされている装置での読み込み

7.1 ユーザー認証がされている装置

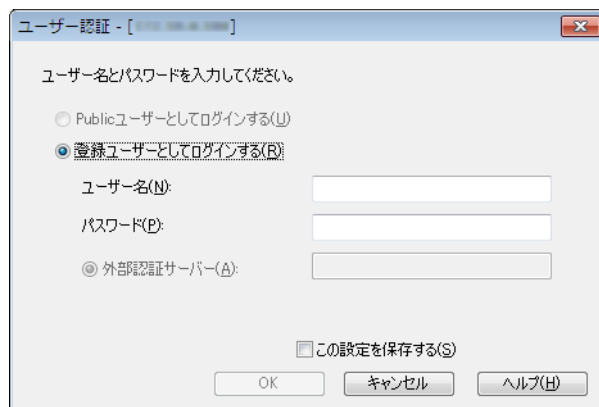
装置にユーザー認証がされていると、メイン画面が表示される前に「ユーザー認証」画面が表示されます。

あらかじめ設定されたユーザー名とパスワードを入力します。

詳しくは管理者にお問い合わせください。

<操作手順>

- 1 [Public ユーザーとしてログインする] または [登録ユーザーとしてログインする] をクリックします。
 - ユーザー認証設定時にパブリックユーザーが認められているときは、[Public ユーザーとしてログインする] をクリックします。それ以外は [登録ユーザーとしてログインする] をクリックします。



- 2 ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
- [Public ユーザーとしてログインする] をクリックしたときは、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。
 - [この設定を保存する] にチェックを付けると、次に同じ装置を選んだときはユーザー名とパスワードが入力された状態になります。
 - MFP（複合機）のユーザー認証設定で外部サーバー認証を選択し、複数のドメインを登録しているときは、ユーザー名の後ろに「@ ドメイン」を入力してください。例えば、ユーザー名が user@1、ドメイン名が domain のときは「user@1@domain」と入力します。

ユーザー認証 - []

ユーザー名とパスワードを入力してください。

☐ Publicユーザーとしてログインする(U)

☒ 登録ユーザーとしてログインする(B)

ユーザー名(N): user01

パスワード(P): ****

☒ 外部認証サーバー(A):

☒ この設定を保存する(S)

OK キャンセル ヘルプ(H)

7.2 部門管理認証がされている装置

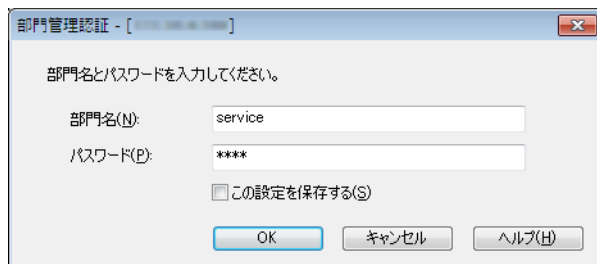
装置に部門管理認証がされていると、メイン画面が表示される前に「部門管理認証」画面が表示されます。

あらかじめ設定された部門名とパスワードを入力します。

詳しくは管理者にお問い合わせください。

< 操作手順 >

- 部門名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
 - [この設定を保存する] にチェックを付けると、次に同じ装置を選んだときは部門名とパスワードが入力された状態になります。

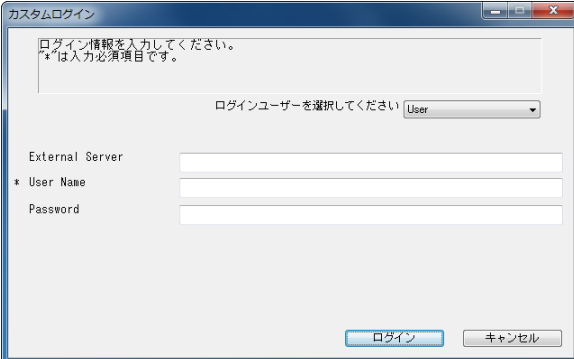


7.3 中間認証サーバーで認証がされている装置

装置が中間認証サーバーで認証がされていると、メイン画面が表示される前に「カスタムログイン」画面が表示されます。

あらかじめ設定されたユーザー名とパスワードを入力します。

詳しくは管理者にお問い合わせください。



- 画面は一例です。中間認証の画面は、認証アプリケーションソフトウェアによって異なります。

8 困ったときにお読みください

エラーメッセージと原因、その対処方法を説明します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
接続先 (IP アドレス) に接続できませんでした。	指定した IP アドレスが間違っています。	接続先の IP アドレスを確認してください。
接続先デバイスはサポートされていません。	指定した IP アドレスの装置が本 HDD TWAIN ドライバーに対応していません。	本 HDD TWAIN ドライバーに対応した装置を接続先に指定してください。
指定したボックスは他のユーザーにより使用中です。	指定したボックスは他のユーザーが使用しています。	しばらく待ってからもう一度接続してください。
指定したボックスのアクセスは拒否されました。	指定したボックスにパスワードが設定されているか、設定したパスワードが間違っています。	正しいパスワードを確認してください。
指定したボックスが見つかりません。	指定したボックスの番号が間違っています。	正しいボックスの番号を入力してください。
HDD が装着されていないためボックスを利用できません。	接続先にハードディスクが装着されていないため、ボックスが使用できません。	サービスマンにハードディスク装着を依頼してください。
ボックスはロックされています。しばらく後にアクセスするか、管理者に問い合わせてください。	ボックスがロックされています。	時間をおいてもう一度接続をするか、管理者に問い合わせてください。
ユーザー認証は失敗しました。ユーザー名、パスワードを確認してください。	ユーザー名またはパスワードが間違っています。	正しいユーザー名とパスワードを確認してください。
認証アカウントがロックされています。しばらく後にアクセスするか、管理者に問い合わせてください。	認証アカウントがロックされています。	しばらく後に接続するか、管理者に問い合わせてください。
外部認証サーバーエラーのためログインできませんでした。	外部認証サーバーに接続できません。	外部認証サーバーが正常に動いているか確認してください。
サーバーが認証要求を受け付けることができませんでした。しばらく待ってから、再度ログイン操作を行ってください。	サーバーが認証要求を受け付けることができませんでした。	時間をおいてもう一度接続をしてください。
部門認証は失敗しました。部門名、パスワードを確認してください。	部門認証が失敗しました。	正しい部門名、パスワードを確認してください。
デバイスからの応答を受信できませんでした。	装置と通信できませんでした。	ネットワークや装置の状態を確認してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
指定した文書を削除できませんでした。	指定した原稿が削除できませんでした。	装置側で原稿がすでに削除されていないか確認してください。
文書へのアクセスは拒否されました。	指定した原稿へのアクセスが拒否されました。	ボックス番号の正しいパスワードを入力してください。
指定した文書はみつかりません。	指定した原稿が見つかりません。	装置側で原稿がすでに削除されていないか確認してください。
ボックス情報を取得できませんでした。	指定したボックスがありません。	装置側でボックスがすでに削除されていないか確認してください。
サムネイルイメージを取得できません。	縮小表示の画像が表示できません。	装置側で原稿がすでに削除されていないか確認してください。
ページ範囲を確認してください。	指定したページがありません。	ページ範囲を確認してください。
デバイスにてメモリエラーが発生しました。	装置でメモリエラーが発生しました。	装置の管理者に問い合わせてください。
デバイスエラーのため、スキャンを行うことはできませんでした。	デバイスエラーが発生しました。	装置の状態を確認してください。
ジョブ登録数が最大値に達したため、スキャンを開始することができませんでした。	ジョブ登録数が最大値に達しました。	しばらく待ってからもう一度接続してください。
デバイスが使用中のためスキャンを開始することができませんでした。	装置が使用中、または使用できない状態になっています。	しばらく待ってからもう一度接続してください。 しばらく待っても同じメッセージが出る場合は、装置の管理者に問い合わせてください。
スキャンは、デバイスからキャンセルされました。	装置からキャンセルされました。	装置の状態を確認してください。
スキャンエラーが発生しました。	スキャンエラーが発生しました。	装置の状態を確認してください。
デバイスとの通信中にエラーが発生しました。	装置との通信中にエラーが発生しました。	ネットワークや装置の状態を確認してください。

